

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、地方創生を図ることを目的として、国において創設されました。

本市では、令和3年度においては、事業者支援事業分が約1億5千万円、事業者支援以外にも幅広く活用できる通常事業分が約4億1千万円と、合計約5億6千万円が交付され、事業者支援として4事業、通常事業として5事業の合計9事業を実施しました。

実施した事業が終了したことに伴い、事業担当課において事業の効果検証を行いました。効果検証の結果は以下のとおりです。なお、事業の詳細は、資料2をご覧ください。

本市交付額（令和3年度） 5億6,293万2千円

総事業費と交付金充当額

(単位：円)

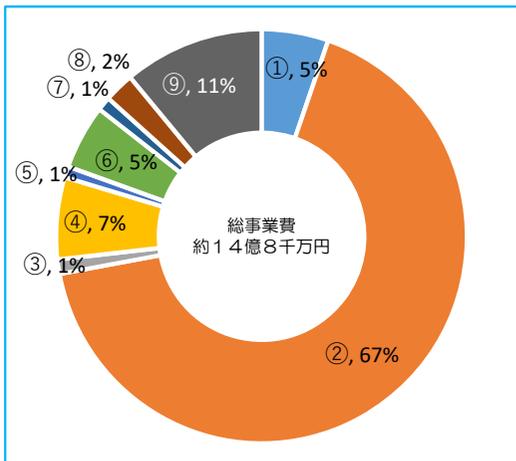
事業名	総事業費	交付対象経費	交付金充当額
① コロナ対策認定店応援金事業	77,765,249	77,765,249	44,878,000
② コロナ対策認定店支援チケット発行事業	986,987,692	226,217,692	205,262,000
③ 雇用対策事業	16,543,036	16,543,036	9,546,000
④ 事業者支援給付金事業	94,662,795	94,662,795	54,631,000
⑤ ワクチン接種者等割引協力店交付金事業	12,639,044	12,639,044	11,468,000
⑥ Made in いせさき医療・福祉・感染症対策機器及び物資等購入に係る事業者支援事業	74,566,419	74,566,419	43,032,000
⑦ 修学旅行キャンセル料等支援事業	16,063,062	16,063,062	14,574,000
⑧ 水稲次期作支援助成金事業	34,642,000	34,642,000	31,432,000
⑨ 子育て世帯への臨時特別給付事業（拡充給付金）	163,232,550	163,232,550	148,109,000
合計	1,477,101,847	716,331,847	562,932,000

※事業者支援事業…①③④⑥ 通常事業…②⑤⑦⑧⑨

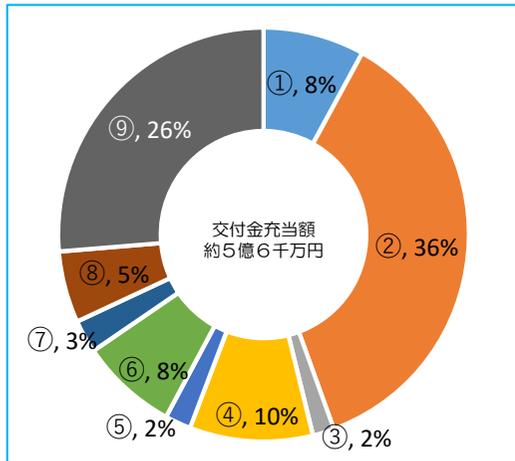
事業担当課による事業の検証結果（効果検証）

得られた効果	事業数 (複数回答)	該当事業
ア 感染拡大防止	1	⑥
イ 子育て世帯の支援	2	⑦⑨
ウ 医療体制の強化	1	⑥
エ 社会生活の維持	7	①②③④⑤⑥⑧
オ 中小事業者への支援	6	①②③④⑤⑥
カ 地域経済の活性化	6	①②③④⑤⑥

総事業費の割合



交付金充当額の割合



まとめ（検証結果）

令和3年度は、総事業費及び交付金充当額の割合から分かるように、②コロナ対策認定店支援チケット発行事業及び⑨子育て世帯への臨時特別給付事業（拡充給付金）に重点を置いて交付金を活用し、感染拡大の影響を受けている地域経済の支援や生活に困っている市民の支援に活用しました。

効果検証の結果、社会生活の維持に7事業、中小事業者への支援及び地域経済の活性化にそれぞれ6事業が効果を発揮することができました。

今後は、コロナによる身体へのダメージ、ワクチン接種の効果や基本的な感染防止対策の有効性など、多くの知見が得られたことから、「コロナとの共生」という考え方で、日常生活を取り戻し、社会活動を再開して経済を回復させる取り組みや事業を推進していく必要があります。

■事業担当課による事業の効果検証（事業の種別ごと）《資料2より抜粋》

【事業者支援事業】

- 応援金を給付することで、市内の感染症対策済み認定店舗は当初の約400店から1,600店に増加し、市民に安心して安全な消費環境を提供することができました。（①コロナ対策認定店応援金事業）
- 給付金を支給したことによって、従業員の雇用の維持や事業の継続など中小事業者等への支援につながりました。（③雇用対策事業）
- 本市独自の上乗せ補助金を給付することで、これまでの経済対策で十分な支援が行き届かなかった飲食業の周辺事業を営む事業者に対して幅広く支援を行うことができました。（④事業者支援給付金事業）
- 補助金を交付することで、市内の医療、福祉、教育施設において、医療、福祉の向上及び感染症対策の向上が図るとともに、製品の製造及び販売を行う企業の売上の向上や販路の拡大に寄与でき、地域経済の活性化を促進できました。（⑥Made in いせさき医療・福祉・感染症対策機器及び物資等購入に係る事業者支援事業）

【通常事業】

- 修学旅行を中止したことにより発生したキャンセル料を市が負担することにより、保護者の経済的な負担軽減が図れました。（⑦修学旅行キャンセル料等支援事業）
- 主食用水稲の需要減少、価格低迷から生産者の生産意欲減退を軽減し、令和4年産の新規需要米を含む水稲作付の促進を図ることができました。（⑧水稲次期作支援助成金事業）
- 子育て世帯の心理的及び経済的な負担の軽減が図れました。（⑨子育て世帯への臨時特別給付事業（拡充給付金））

■事業の対象者への聴き取り※すべての事業ではありませんが、事業の対象者に事業効果について聴き取りを行いました。

②コロナ対策認定店支援チケット発行事業（アンケート調査）

- アンケート回答者のうち、92%が経済対策に有効であると回答しました。
- アンケート回答者のうち、58%がストップコロナ！対策認定制度の取得が買い物の安心につながると回答しました。

⑤ワクチン接種者等割引協力店交付金事業（電話聴き取り）

- 外出自粛による売上げの減少や、感染症対策による負担増で、経済的影響が大きい中での交付金は大変ありがたかった。
- 事情があってワクチンを打てない人や子ども連れの人にも割引サービスを提供したことは大変好評で、一部のお客様のリピートにもつながった。

⑥Made in いせさき医療・福祉・感染症対策機器及び物資等購入に係る事業者支援事業（アンケート調査）

製造、販売企業のうち、55%が販路拡大に成功、70%が補助金を通して受注につながったと回答がありました。

意見や要望は、以下のとおりです。（一部抜粋）

- 換気機能が整った。（購入事業者）
- 具体的な目的を持った対策を講ずることにより、安心・安全の市民生活が送れることにつながると思った。（購入事業者）
- 対象製品から必要な物を購入させていただくことができ、園の感染対策などを充実させることができた。（購入事業者）
- 説明会から事業スタートまでもう少し猶予があっても良いと感じた。（製造事業者）